

アライグマ・ハクビシンなど中型獣の防除に最適！

ネット × 電気
複合電気柵

らく らく
楽落くん

【監修】埼玉県農業技術研究センター



対象獣：アライグマ・ハクビシン・タヌキ・アナグマ・イノシシ

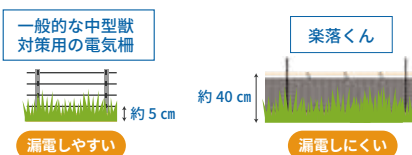
楽落くんが選ばれる4つの理由

1 中型動物の特性を活かした構造で効果バツグン！



「登る」のが得意なアライグマやハクビシン・「掘る」のが得意なタヌキやアナグマの両タイプに対して、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導する構造になっています。

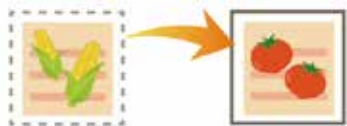
2 下草がワイヤーに触れづらいからメンテナンスが楽ちん！



一般的な中型獣対策用の電気柵は、ワイヤーの下段を低い位置に設置しなければならず、どうしても下草に接触しやすくなるため、小まめな下草刈りが必要となります。一方、「楽落くん」は下部がネット構造になっているため、一般的な電気柵に比べ、メンテナンスの手間が軽減される点でも非常に優れています。

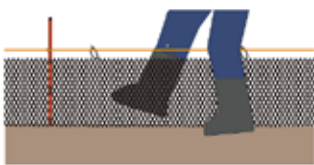
3 被害にあう時期だけ設置！短時間で設置・移動も可能

収穫が完了したら、次の園場へ移動



短時間で簡単に設置でき、収穫が終わった後の片付けも楽です。収穫する農作物に合わせて設置場所を移動させることも可能です。

4 畑にまたいで入れるから農作業を邪魔しない！



通常の電気柵は、1m程度の高さが多く、出入り口にはゲートの設置が必要です。「楽落くん」は、高さたったの40cmで、人がまたげる高さになっているので、農作業の邪魔になりません。
※耕耘機の出入り用に、電気柵用ゲートも付属しています。

設置イメージ



ソーラータイプの本機への変更、設置距離の延長、ネットのみのご購入も可能です。



カスタマイズ可能

当店ではお客様のご希望に応じて柔軟に対応いたします！

お気軽にお問い合わせください。

相談無料

見積無料

送料無料（※一部地域・商品を除く）



鳥獣被害対策商品の総合サイト

鳥獣被害対策.com

info@choujuhigai.com
https://www.choujuhigai.com

鳥獣被害対策ドットコム



運営会社



つなげる自然、つなげる社会
CHIKAN
地域環境計画

中型動物におすすめ「楽落くん」

アライグマ、ハクビシン等の中型動物対策には、獣害防止柵「楽落くん」が最適です。「楽落くん」は、アライグマ、ハクビシン等の中型動物に対応したネット柵と電気柵の複合柵です。短時間で簡単に設置でき、高さが低いので、人間はまたいで中に入れます。被害にあう時期のみの設置で効果が得られ、収穫後の片づけも楽です。「楽落くん」は、下段が下草に接触し、漏電しやすい中型獣対策用の電気柵と比較し、下部がネット柵の構造になっているため、メンテナンス面でも非常に優れているのも特徴のひとつです。



なぜ「楽落くん」がおすすめなの？

①中型動物（アライグマ・ハクビシン・タヌキなど）の特性を活かした構造で、効果バツグン！

「登る」のが得意なアライグマやハクビシン、「掘る」のが得意なタヌキやアナグマの両タイプに対して、絶妙な柵の高さで感電するよう対象動物を誘導する構造になっています。



楽落くん周辺を警戒しています

電気柵ワイヤーに触れると…

感電し驚き、逃げていきます

楽落くんの効果検証動画

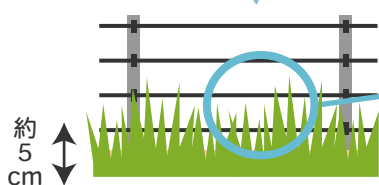
楽落くんの効果検証と長期間設置時の注意点などを動画で解説しています。



②メンテナンスが楽ちゃん！

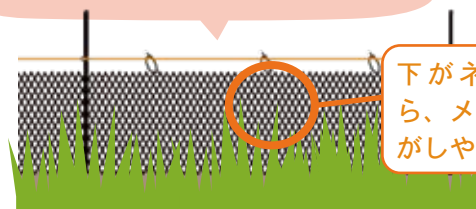
一般的な中型獣対策用の電気柵は、ワイヤーの下段を低い位置に設置しなければならず、どうしても下草に接触しやすくなるため、小まめな下草刈りが必要となります。一方、「楽落くん」は下部がネット構造になっているため、一般的な電気柵に比べ、メンテナンスの手間が軽減される点でも非常に優れています。

一般的な中型獣対策用の電気柵



こまめに下草刈りをしないと、すぐにワイヤーにあたっちゃう…

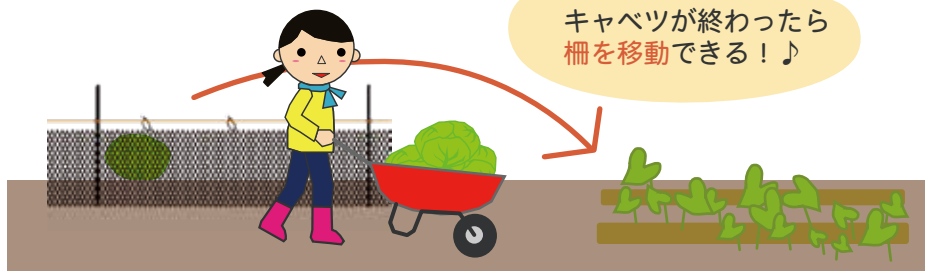
ネット × 電気の複合柵「楽落くん」



下がネットだから、メンテナンスがしやすい！

③収穫前など被害にあう時期にだけ設置が可能！

短時間で簡単に設置でき、収穫が終わった後の片付けも楽です。収穫する農作物に合わせて設置場所を移動させることも可能です。



④柵が低いから畑にまたいで入れる！

一般的な電気柵は、1m程度の高さが多く、出入口にはゲートの設置が必要です。「楽落くん」は、高さたったの40cmで、人がまたげる高さになっているので、農作業の邪魔になりません。

※耕運機などの出入りができるように、電気柵用ゲートも付属しています。

「楽落くん」の設置手順

『楽落くん』100mの設置作業の時間目安（2人がかりの場合）
 ネット柵設置：4時間程度＋電気柵設置：30分程度
 ※実際に設置した際のブログはQRコードから確認できます。



1



ネットを広げる

2



ポールにクリップを取り付ける

3



ネットにポールを差し込み

4



クリップにワイヤーを通す

5



結束バンドで幅を固定する

6



電気柵本機の設置
 （本機・アース・危険表示板など）

「楽落くん」の設置事例

被害が防止できるのはもちろんのこと、
 収穫作業へのモチベーションや労働意欲
 の向上につながりました！

＼喜びの声／



▲またいで入れるから農作業を邪魔しない。（ゲート設置も可能）



▲危険表示板を設置して人やペットが触れないようにアピール。



▲延長セットで長距離設置にも対応可能。



▲いちごハウス対策にも効果的。
 ハウスへの侵入防除で衛生面でも安心。



▲乾電池で稼働する本機で電源不要。
 （人気のソーラータイプにも変更可能）



▲収穫前の農作物だけをピンポイントで対策可能。



「楽落くん」は中型獣の専門家が監修！
セット商品だから安心して購入できます！

「楽落くん」は、アライグマ・ハクビシンの生態に精通している古谷益朗氏が在籍していた埼玉県農業技術研究センター 生産環境・安全管理研究担当 鳥獣害防除研究チームが、獣害被害を防止するため、研究・開発し、マニュアル作成しました。当店では、埼玉県農業技術研究センターが配布する『楽落くん設置マニュアル』を元に、「楽落くん」の設置に必要な資材がすべて揃うセット商品をご用意しました。



※画像の資材はイメージです。実際の数量とは異なります。



NEW
らくらく 楽落くん
100m 資材セット
ネットと電気柵の複合対策

ハクビシン・アライグマに
効果バツグン!

対象獣	アライグマ・ハクビシン・タヌキ・アナグマ	タイプ	ネットと電気の複合柵	高さ	約 40 cm
-----	----------------------	-----	------------	----	---------

※100m設置に必要な資材がすべて入った**セット商品**です。
※設置距離の延長セットやネット資材のみの取り扱いもございます。



電気柵の基本 安全な電気柵選び

電気柵 感電の危険性と安全な電流の仕組み

電気柵の購入や設置には資格も必要ありません。しかし、間違った使い方をすると大事故に繋がる恐れがあります。事前に正しい知識を身に付けて、安心安全な電気柵の運用をしましょう。

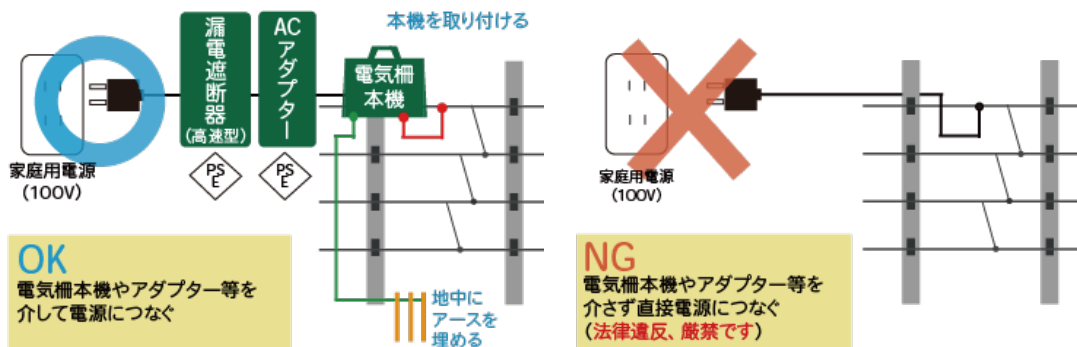
POINT1 電気柵用電源装置（電気柵本機）を使用しましょう！

電気柵用電源装置は、ひとに危険を及ぼすことが無いように、必ず出力電流が制限されていますが、一般の家庭用電源はそのような配慮はありません。家庭用電源を使用する場合は、電気柵（本機）と AC 電源の間に漏電遮断器を取り付けることで安全に利用できます。

POINT2 AC100V 仕様の電源装置を設置する際は漏電遮断器を接続しましょう！

漏電遮断機とは、漏電を検知した際に回路を遮断し、災害を防ぐための装置です。仮に、漏電遮断器を接続せずに、直接家庭用電源から 100V（または 200V）の電気を流して感電した場合、連続的な電気が流れるために、筋肉が痙攣（けいれん）を続け、重大事故につながる危険性があります。

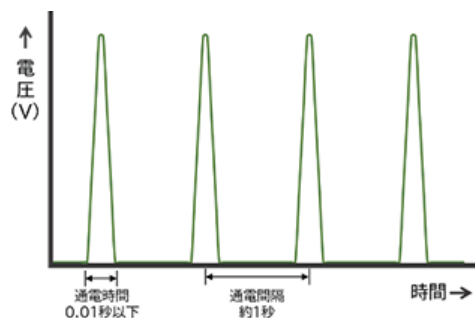
※漏電遮断器は「人が立ち入る場所に使用電圧 30V 以上の電源から電気供給を受けて設置する場合に接続する義務」があります。



電気柵って危なくないの？

電気柵の電気は、家庭用電源（AC 電源）とは異なり、パルス電流という、普段はあまり聞かれない電流を電気柵線（ワイヤー）に流します（右図参照）。

パルス電流とは、短時間に瞬間的に流れる電流のことです。電気柵では、約 1 秒間にほんの一瞬（0.01 秒以下）だけ電流が流れます。そのため、1 回に放出される電気の出力は 6,000 ～ 10,000V（ボルト）と高電圧ですが、誤って触れてしまった場合でも危険を回避することができます。



ご注意

人が誤って触ってしまっても、ビリッとするだけで、通常、人体に影響はありませんが、ペースメーカーを付けている方は絶対に触れないように注意してください。

安全な電気柵の見極め方

POINT3 「日本電気さく協議会」に加入しているメーカーの製品がおすすめです！

「日本電気さく協議会」は、2004 年に発足した団体で、国内で電気柵を製造しているメーカーや輸入代理店など、8 社で構成されています。年 3 回の定期会議が開催され、電気柵の安全管理や最新知見、有効な使い方に関する情報共有、議論が活発に行われています。また、安全管理のための自主基準を設定し、「電気さくの安全使用」を呼びかけています。当店「鳥獣被害対策ドットコム」では、電気柵を利用される皆様に、電気柵をより安全に使用していただくために、「日本電気さく協議会」に加入しているメーカーの製品のみ取り扱っています。

中型動物の農作物被害防止柵

楽落くん NEO ガラガー 100m 資材セット

設置手順

楽落くん監修：埼玉県農業技術研究センター 生産環境・安全管理研究担当 鳥獣害防除研究チーム

ハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型動物被害対策として、被害にあう時期（スイートコーン・イチゴ・スイカなど）にだけ設置するタイプの電気柵を開発しました。「登る」のが得意なアライグマやハクビシンなどに対し、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。

【対象動物】

アライグマ・ハクビシン・タヌキ・アナグマ（※）など中型動物、イノシシ

※加害獣がアナグマの場合、被害発生後の設置では効果がありません。

【設置説明書内の使用画像について】

本設置説明書内、一部旧仕様の資材画像を使用している箇所がございます。

新仕様の資材は次ページの画像を参照ください。

また、旧仕様からの変更点は以下となります。

- ・楽落ネット：(旧) 角目 → (新) 菱目
- ・FRPポールφ14mm：(旧) 茶色 → (新) 黒色

設置イメージ



※イラストはイメージです。わかりやすくするため縮尺は正確ではありません。

楽落くんを張る前の準備

柵を張る位置の外周を測り、設置計画を立てます。

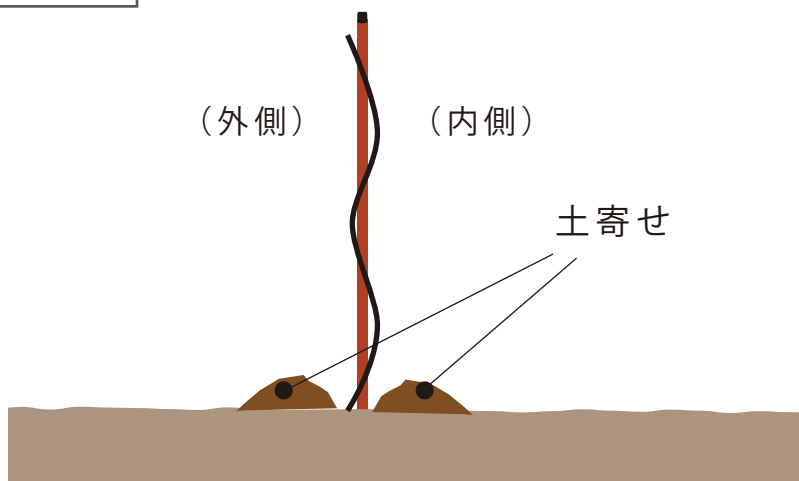
- ▶ 柵の外側に、人が歩いて通れる管理道を必ずつくってください。
畑の境界ぎりぎりの柵は、設置しても侵入されやすくなります。
- ▶ 中の作物と柵の間は最低 50 c m 以上離してください。
- ▶ 通電線に当たって漏電しないよう、雑草は刈っておいてください。
- ▶ ネットと地面にすき間ができないよう、あらかじめ凹凸をならしておきます。



すき間ができないようにネットを張ることが重要です！

侵入しようとする中型動物は、まず、すき間を探して入ろうとします。地面を平らにならしてネットを張り、すき間をなくして設置することがとても重要です。また、ネットを張り終えた後には、ネット下部に土寄せをして、徹底的にすき間をなくしましょう。

断面イメージ



設置方法

① ネットを伸ばします。

柵の設置予定地に楽落ネットを伸ばします。



② 支柱にフックを取り付けます。

支柱を打ち込む際にハンマーなどで直接たたくと、上部が潰れてしまう場合がありますので、打ち込み前に支柱にフックを取り付けます。



③ ネットに支柱を差し込んで、支柱を打ち込みます。

支柱の間隔は 2 mを目安にします。
角は 2 本の支柱で補強してください。

ネットへ支柱を差し込む手順は次のページをご確認ください

CHECK!



ネットの向きにご注意ください！

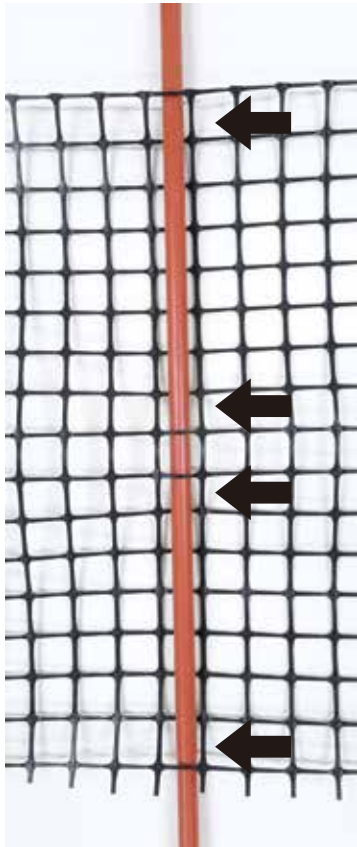


内側
(農作物)

外側

楽落ネットには裏表があり、ロールの内側に向かってまるまる性質があります。そのため、柵の外側、つまり動物が侵入してくる側に、ネットの内側がくる（**ネットの反りが柵の外側を向く**）ように設置します。
ネットの反りを外側に向けることで、忍び返しの効果が発生します。

ネットへ差し込む手順



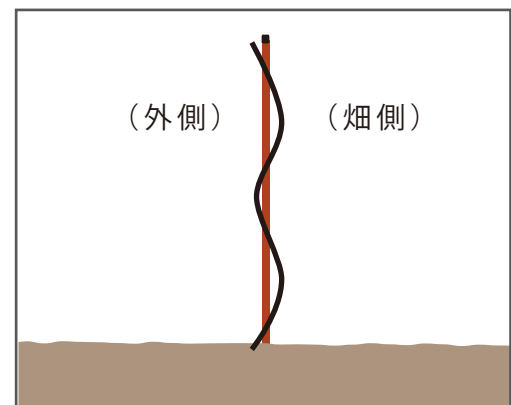
一番上の差し込みは、ネットの1マス目に差し込みます。
(ネット表から裏へ差し込みます)

次に、真ん中のあたりに差し込みます。
(ネット裏から表へ)

上記の2マス下に差し込みます。
(ネット表から裏へ)

一番下は、下から1マス目に
差し込みます。
(ネット表から裏へ)

▼ 断面イメージ



※埼玉農業技術研究センター発行「楽落くん設置マニュアル ver2.5」内では
《一番下は、下から3段目》と記載がありますが、正しくは《一番下は、下から1段目》となります。

CHECK!



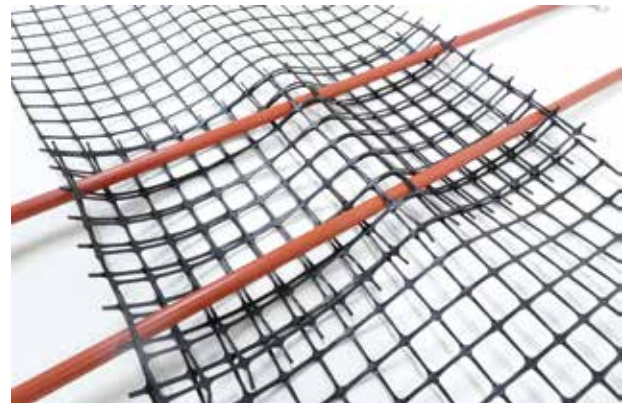
ネットのつなぎ目は支柱で固定

ネットのつなぎ目は、ネットとネットを
重ね合わせ支柱で固定します。

結束バンドを使用して固定しても問題
ありません。

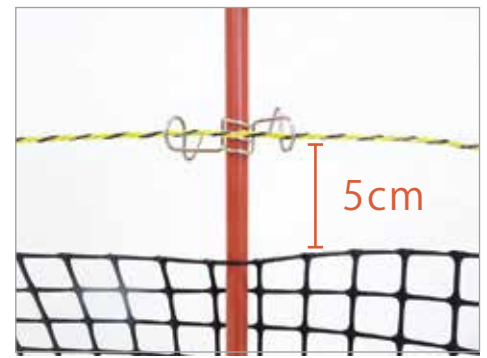
しっかりと固定することが大切です。

角は支柱2本でしっかり固定



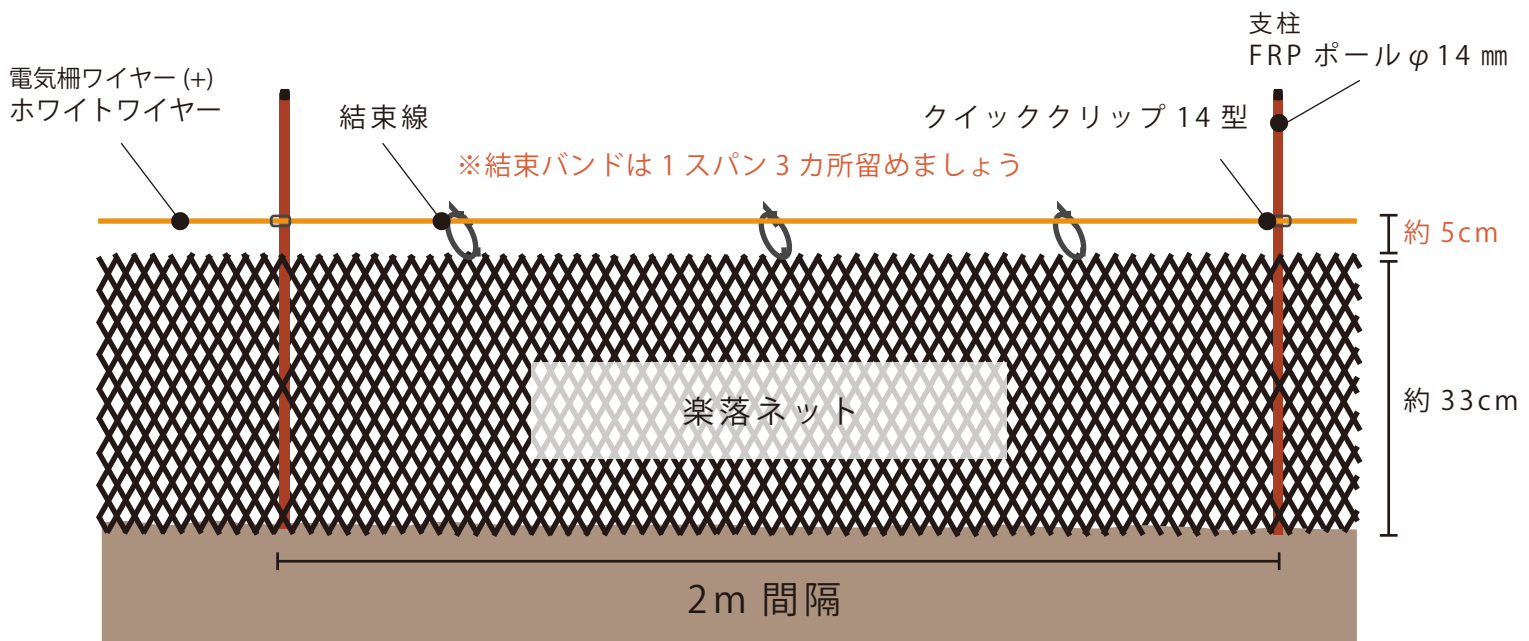
④ 電気柵ワイヤーの設置

電気柵ワイヤーをフックに取り付けます。
ネットと電気柵ワイヤーの間は **5 cm** にしてください。
※5 cm より広いと隙間からもぐられてしまいます。



⑤ 結束バンドの設置

結束バンドで支柱間を3カ所程度、約50 cm程度の
間隔で設置します。
ネットと電気柵ワイヤーの距離が約5cmに保たれ
るように、固定してください。



※イラストはイメージです。わかりやすくするため縮尺は正確ではありません。

⑥ 電気柵本機の設置（本機・アース・危険表示板など）

電気柵本機「ガラガー」を、**柵の内側**に設置してください。
(外側に設置すると動物の足場となる場合がありますので注意してください)
電気柵の設置につきましては、別途『ガラガー取扱説明書』をご確認ください。

楽落くん NEO 設置の注意事項

1 被害が出る前に設置！

- ・餌となる食物を一度でも食べさせると、アナグマなどは執着して入ろうとします。初めてできた障害物（電気柵）を見た動物が、それが安全なものなのかを探查する時に、いかに感電させられるかがポイントです。電気柵は痛みを学習してはじめて効果を発揮します。
- ・設置初期には、動物が柵線に触れたショックで逆に柵内に飛び込んでくることもあります。
- ・被害が発生してからでは十分な効果が得られない場合があります。特に、加害獣がアナグマの場合、被害発生後の設置では効果がありません。

2 設置した日に必ず通電！ 電池切れに注意！ 収穫終了後も、柵を片付ける日まで24時間通電！

- ・動物が探查したときに感電しないと、「電気柵は危険だ」と認識しなくなる場合があります。そのため、設置当日に必ず通電してください。後からの通電は効果がありません。
- ・「収穫物がないから」といって通電していないと、柵に慣れて次作や翌年作で柵の効果がなくなる場合があります。動物は明け方や夕方でも動きます。スイッチを「昼夜切り替え」にすると、時間帯によっては動物の侵入時に通電していない場合があるため、24時間通電しましょう。
- ・「いつのまにか電池が切れていた」では手遅れになります。定期的に電池交換をし電池切れがないようにしましょう。
- ・電気柵を設置している間（期間）は絶対に電気柵本機の電源を切らないでください。
- ・収穫終了後、電源を切る際には全体を撤去してください。やむを得ず撤去できない場合でも柵線だけは必ず撤去してください。

3 漏電しないよう、雑草管理はこまめに！

- ・柵線に雑草が当たっていると、漏電して電圧が下がり、電気柵の効果がなくなります。雑草以外にも栽培している作物のツルや葉も、柵線に触れている場合があるので注意してください。
- ・収穫が長期間にわたる場合は特に注意し、定期的に設置場所の見回りをしましょう。

4 こんなところが狙われています！

- ・5cm以上の隙間は注意が必要です。隙間が広がっているところは狙われています。

▼水路の隙間



▼傾斜地の隙間



▼排水溝・排水管



画像：埼玉県農業技術研究センター

注意事項を守って効果のある設置をしましょう！